

# 2021年度第2回理事会 議事録 2021.8.22

日時：2021年8月22日（日）13：00～16：05

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、木村修介、望月強併、澤口勇、大郷和成（17名）

欠席理事：西川航平（1名）

出席監事：野々垣睦美（1名）

欠席監事：錠内広之（1名）

## I. 会長より挨拶

### 1. 第3回理事会開催にあたって

様々な課題について一緒に考え話し合っていきたいと思っているが、前回の理事会運営について真摯に受け止めスムーズに運営できるよう努力を続けていきます。みなさんも共に円滑な進行にご協力をお願いしたい。

理事会の司会進行については吉本事務局長にその任を依頼する。

## II. 報告事項について(トピックス・各部署・理事・三役)

### 【各部署】

### 1. 学会評議委員会 戸塚理事

#### (1) 第18回神奈川県作業療法学会 支払い代行業者の活用について

参加証や領収書の発行、演題登録、口述発表のオンライン登録等は、すでにコムラ（株）に依頼済み。さらに支払い（クレジット等）の管理の代行を依頼すると、+50～70万かかるとのこと。

支払い管理の代行業者を以下で検討している。

- マルチチャネルペイメントサービス
- ロボットペイメント

代行業者のメリット

- ア) 支払われた参加者の連絡先を確実に把握できる
- イ) 学会ギリギリまで参加支払いが可能となる（銀行口座の参照に時間をかけなくて良い）
- ウ) 2つの業者は1ヶ月程度の短期間での運用が可能（他の業者と比較）
- エ) 2つの業者は他の機能（領収証等）を付けないと安価である

→ 三役会で詳細について相談検討する 9月中には契約の方向で検討したい

### 2. 福利部

#### (1) 県士会表彰について（最終報告） 以下の方々から表彰受諾をいただき最終決定した。

石井 政江氏（康心会 ティー・エイチ・ピーメディカルクリニック）

鳥家 朋子氏（自宅会員）

山崎 文子氏（横浜市総合リハビリテーションセンター）

北島 智恵子氏（藤沢病院）

中西 理佐子氏（横浜南共済病院）

杉山 いずみ氏（鎌倉療育医療センター小さき花の園）

城下 絵里香氏（神奈川県立精神医療センター）

## 【理事】

### 1. 金山理事より

#### (1) 選挙管理委員会ワーキンググループ

第2回ワーキンググループを7月13日（火）19：00～20：00で開催。

2021年度実施予定の代議員選挙についてマニュアルを検討中。

#### (2) 研修会ワーキンググループについて

第1回ワーキンググループを7月12日（月）20：00～21：30で開催。

オンライン決済導入に必要な会計区分と会員確認を中心に意見交換を行った。また、ワーキンググループ終了後メールでも意見を募り、会員は会員と非会員にわけること、値段設定は会員価格を1とした時1.5～2倍とする方針となる。研修会マニュアルについては見直しを進め更新作業中。

#### (3) 企画書について

総会議案書に記載されていない事業はもちろん、記載されているが詳細が不明確なものについて提案する際の申請書類を統一する。使用方法は追って金山副会長より理事へ周知する。

### 2. 田中理事より

#### (1) 地域活動支援ワーキンググループより

地域の作業療法士の支援ワーキンググループ進捗状況 8月16日に会議実施

ア) 地域支援事業の実態調査→代議員だけでなく会員を対象とする(大郷理事担当)

9月：理事・監事、部員、代議員向け

12月：一般会員向け

アンケート内容、および依頼文作成中 理事メーリングリストで共有する。

イ) 地域支援事業の窓口担当およびPRについて(遠藤理事、佐藤隼理事担当)

地域支援事業へのOTの活用推進のためのリーフレットを作成。

ウ) 今後の展開

理事から提案された代議員への意見聴取について検討する。

次年度予算と担当部署の検討（リーフレットの印刷費や発送費等PR活動費）。

### 3. 澤口理事

#### (1) リハ手帳（仮称）PTOTST 合同会議 7/30 オンライン会議の報告

##### ア) 担当役員

PT士会担当理事交代（露木氏⇒栗原氏） PT士会の担当委員長は変更なし（宮川氏）

ST士会（清水氏）、OT士会（澤口氏）変更なし

##### イ) 前回会議内容の確認

リハビリ手帳の基本方針を確認・・・リハビリサマリーのような内容ではなく、誰も見てわかりやすい言葉や形式を取り、本人(全世代)や家族またはその方々に関わる多職種向けの情報発信ツールとする。

「セラピストがリハビリを施すために必要と想定したものではなく、本人や家族が生活（もしくは生活リハビリ）していく上で多職種にも情報伝達し、かつ本人達も役立つようなツール」とする。

##### ウ) 今後の予定

PTOTSTによる会議を1～2回程度行い、概要を決定してから、各士会へ展開していく。

## 【三役】

### 1. 田中副会長より

#### (1)40周年記念事業について

今年度が当会の40周年にあたることを踏まえ、以下の提案がある。

- ・現在行っている事業を集約活用して皆が参加できる40周年記念事業として開催したい。
- ・参加費を無料とし、会員だけでなく学生や他団体なども含めて誰でも参加できるイベントとしたい。
- ・当会が40年間継続してきた事とこれから何を目的に事業展開していくのか記録を残したい。

これらを今年度中の開催に向けて準備して実行したい。

→企画書を用いて改めて一案を提案し理事より企画意見を募集する。

周知のため広報戦略を強化する必要がある。

→ホームページトップでイラストやロゴを使用し40周年と広報する(ウェブサイト管理委員会にて検討)。

県士会ニュースでの広報、養成校とのコネクトについて(広報部にて検討)。

その他広報は各種SNSツールを使用できると良い(現在SNS運用について検討中)。

## Ⅲ.審議事項について

### 1. 事務局 各部門 部員承認について

→承認

### 2. 神保会長 中・長期計画 ウェブサイト掲載について

→承認

#### (1)留意する点

目標を示す際は具体的な時期や数値が明記できるようにする。

総会で説明した内容と齟齬がないように説明する。

会員に伝えやすいように資料は明瞭簡潔にまとめる。

掲載依頼前に理事メーリングリストにて共有確認する。

## Ⅳ.提案事項について

### 【各理事からの提案】

### 1. 「会員数増」に向けたプロジェクト(横ぐしの企画立案)の早急な立ち上げについて

澤口理事より提案。現在、理事メーリングリストにて意見を呼び掛けず。

ワーキンググループとして確認し、多くの理事に協力をしてもらうこととなる。

## Ⅴ.事業評価・計画について

### 1. 各部署より発表・質疑応答(発表5分、質疑応答1分) ※各部署 質問・意見のみ記載

#### (1)事務局

ア)各ワーキンググループの予算を計上してほしい→計上する。

イ)会員情報の内容をブラッシュアップする必要があるか検討してほしい→個人情報保護を留意し検討する。

エ)事務局の備品が老朽化しているため交換費用を計上してほしい。→計上する。

オ)研修会開催説明会やマニュアルの整備について。→研修会ワーキンググループで更新管理。

カ)事務局員の賃金については更改を検討中。

#### (2)財務部

ア)研修会マニュアル更新と連動して会計監査マニュアルの更新も必要。

#### (3)教育部

ア)臨床実習指導者講習会については養成校単体主催での開催予定あるか。

→養成校単体での開催の予定はなく養成校協会では検討中と聴いている。県士会は有料で継続開催予定。

#### (4)学術部

ア)倫理委員会は倫理配慮の観点から以前から必要とされてきたため立ち上げを強く希望する。

→積極的に部署内で議論し代替え案も含めて検討する。

#### (5)広報部

ア)県士会ニュース(紙面)発行が減少したためチラシの封入活用ができない。ホームページでの掲載を検討してほしい。→ウェブサイト管理委員会と相談検討する。

イ)県士会で使用できる SNS ツールは何か。→ウェブサイト管理委員会と検討中。次回理事会で提案予定。

#### (6)地域リハビリテーション部

ア)事業数が多岐に渡っており理事・役員への内容や実績が共有できていないのではないか。結果や将来像が明確に共有できるようにしてほしい。→今までの経緯から事業が多岐に渡っている。日本作業療法士協会からの要望もあるため事業が拡大しやすい。関連部署(地域包括ケアシステム推進委員会や認知症対策委員会など)と協働しながら実行し発信力も強化していく。

イ)効果的な発信の方法について早急な検討を依頼。

#### (7)福利部

ア)会員増ワーキンググループとも協働して事業を展開してほしい。

#### (8)生活行為向上マネジメント委員会

ア)事例報告会の開催について。→日本作業療法士協会と連動して実施しながら情報収集にも努める。

イ)養成校(推進校)との連携について。→県内推進校と引き続き連携を検討。

ウ)普及推進するために具体的な目標を明確にしてほしい。→修了者数、研修会受講者数を指標としている。

エ)研修会は1回/年で目標を達成できるのか。事例報告会は希望制であるが広報は十分に行えているか。

→ホームページ、広報誌で引き続き広報を行う。事例報告会の希望は少ないため開催方法の検討は必要か。

#### (9)公益法人化対策委員会

ア)リハビリ手帳(仮称)についてはどの部署で担当する事業なのか。

→事業とするのであればこのまま公益法人化対策委員会の担当が良い。来年度は事業費の予算を計画する。

イ)公益法人化を進めるための課題は何か。現在どの段階まで進んでいるのか。

→当会の公益事業の目的や方法について議論し意思決定する必要がある。理事会での議論を進める。

#### (10)規約委員会

ア)選挙に関するマニュアル作成に協力を依頼。

イ)メール審議についての総会議案提出を依頼。

#### (11)制度対策部

ア)社会制度対策班の経緯と今後について。

→以前は委員会であったが現在はその役割が大きく変化してきた。今後の役割や体制について再検討する。

#### (12)学会評議委員会

ア)田中副会長がサポートに入る。

#### (13)認知症対策委員会

ア)精神科認知症治療病棟所属の作業療法士への支援について検討してほしい。

イ)来年度アルツハイマーデー月間を見据えた啓発活動を検討してほしい。

→アルツハイマーデーイベントに協力している理事もいるので一緒に相談して検討する。

ウ)認知症だけでなく精神科領域も事業の範囲となる。各理事の連携が必要。

#### (14)エリア化推進委員会

ア)エリア化推進事業を活用して各部署が積極的に連携してほしい。

イ)エリア化事業に関わりたい部員を広く募集する。

#### (15)ウェブサイト管理委員会

ア)他団体ホームページも参考に『一般向け』『会員向け』と情報を整理して掲載してほしい。

イ)ホームページの外部委託は検討しているか。

→予算の関係もあるため一部委託など役割を整理して検討したい。財務部も協力する。

ウ)Kana からの手紙について。

→運用方法や啓発強化など検討してほしい。

#### (16)地域包括ケアシステム推進委員会

担当西川理事欠席のため資料共有・報告を田中副会長が代読。

## 2. まとめ(神保会長)

来年度の方向性を共有できた。会員との窓口としてエリア化推進は鍵となる。また県民との窓口は公益法人化対策となると考えられる。広報戦略については時代背景や社会情勢に合わせて変化させていく必要がある。対象や方法、運用方法を含めて現在検討しているので決定次第運用していく。予算は概算で今年度よりも少ない見積もりとなった。今後も引き続きオンラインを活用していくことで予算の削減は図れると考えられる。新たな事業提案については企画書を活用してほしい。引き続き事業計画については期限を設けて質問意見を理事メーリングリストで募集する。

## VI.その他 連絡事項等

### 1.議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、野々垣監事、遠藤理事、野本理事。

### 2.茨城県土会より代議員制度についての質問依頼

三役にて回答する。内容は理事メーリングリストで共有する。

### 3.ホームページ部署情報の更新

未更新部署は早急に更新手続きを行う。

### 4.監事より

コロナ禍が続く中オンラインを上手に活用して費用を削減できている。事業評価・計画を通じてその進捗状況の振り返りや他部署との連携調整の必要性が見える化できたことは有意義だったと感じる。引き続き検討をお願いします。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	遠藤 陵晃	印
	理事：	野本 義則	印
	監事：	野々垣 睦美	印

次回理事会日程：2021年9月16日(木)19時より開催予定